

得点順

七点

- ③ 冬波や光る空母のカタパルト 増田 守
- ③ 薄墨の筆流麗や寒見舞 岩野ヤエ子

六点

- ① 懐に愛犬のをり寒の入 岩野ヤエ子
- 初夢や父の抑留模糊として 稲葉 幸

五点

- ④ 半ばまで冬帽の吞む頭蓋骨 弘友 秀夫
- ② 来し方を刻む皺なり初鏡 藤本 友子
- ② 旅人のための日溜まり冬青草 恩田 才美

四点

- ① 西に入る寒満月や透きとほる 岩野ヤエ子
- ① 改元へ百二十日初日記 藤本 友子
- あれこれの抽斗たのし冬籠 恩田 才美
- 年迎ふ意気込みもなし酒の爛 京林 眞壽
- 冬ぬくし日差し背負ひて畑仕事 辻 幸子

三点

- ① 寒灯や己の影を照らしをり 京林 眞壽
- ① 気合入れ太き大根買ひにけり 柏尾のり子
- 今際まで女優でありし狐かな 弘友 秀夫
- 御言葉の沁みて天皇誕生日 柏尾のり子
- 天空に綾を描いて冬の鶯 稲葉 幸
- 食む数は齢を越えず節の豆 平野 邦子
- 果つるまで歩み止めぬか枯螳螂 藤崎安紀子
- 波止の陽に飽きしか沖へ冬かもめ 古野 明美
- 光にも力出て来て春近し 桜井 幸枝

二点

- ① ふくらかな御仏の笑み冬日向 藤崎安紀子
- ① 小じんまりまとまり光る冬の薔薇 岩崎 眞三
- ① 忍ぶ恋下アを開ければ日脚伸ぶ 京林 眞壽
- 法外な祝儀値付けり初市場 藤本 友子
- 吾の誕生日ひときわ大き冬の月 桜井 幸枝
- バレリーナ翔ぶ月明の大鏡 恩田 才美
- 寒の入り用のなきもの溢れけり 増田 守

(以下 省略)